

7 環境配慮のための仕組みづくり

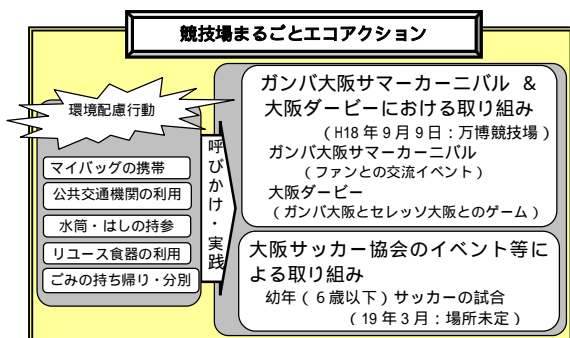
環境に配慮したライフスタイルや事業活動を活発化させることをめざし、環境パートナーシップの構築や環境に配慮した経済社会への変革に取り組みます。

(1) パートナーシップによる環境保全活動の推進

スポーツを通じた環境配慮啓発事業～地球を守る「モット・キット」マッチ～【新規】

Jリーグクラブ(ガンバ大阪)及び大阪サッカー協会の協力を得て、サッカーの試合等を通じて府民に環境配慮行動(エコアクション)を呼びかけます。

メッセージの発信力の強いJリーグの選手から直接呼びかけることなどにより、エコアクションを広く展開、定着させるきっかけとします。



<「モット・キット」マッチ イメージ>
エコアクションキャラクター モットちゃん・キットちゃんについてはP.4参照

環境情報プラザ管理運営事業

環境情報センター内の環境情報プラザにおいて、環境に関する様々な情報を集め、広く府民に提供するとともに、府民、環境NPO、事業者などの環境学習や自主的な環境保全活動を支援していきます。

また、府内で活躍する環境NPO等を対象に情報交流会を開催し、定期的な情報交換と協働での事業推進を図ります。

さらに、大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」を活用し、府内で活躍する環境NPO等と自治体間の情報の共有化を図り、パートナーシップによる環境保全活動の促進を図ります。



「かけはし」ホームページ

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/center/plaza/kakehashi/>

魚庭(なにわ)の海づくり大会

海の日(7月第3月曜日)に、地域の人たちと力を合わせた海岸清掃活動や森・川・海における環境活動の紹介などの様々なイベントを通じて、美しく豊かな大阪湾を府民一人ひとりの手で取り戻す活動への取り組みを呼びかけます。大会は若手漁業者が中心となって運営されており、漁業者が大阪湾の環境改善の取り組みの先頭に立つ決意を示す「豊かな海づくり宣言」も行われます。

(2) 環境教育・環境学習の推進

農空間における環境学習の推進

ため池・水路・農地などの農空間は、私たちの食料である農産物の生産の場であり、また、それをとりまく自然と一体となって良好な環境を提供する貴重な役割を果たしています。

子どもたちがため池・水路・農地などの農空間の自然に触れ、学習する「農空間なっとく出張教室」を開催し、農空間の大切さを伝

るとともに、農家やNPOと一緒に活動することで、子どもたちの地域社会への理解を深めます。

また、農空間の学習フィールドの紹介や府民公募制の水土里（みどり）のインタープリター（里山等の農空間の役割を伝える人材）の育成・登録を進めます。

豊かな海づくり推進事業

海藻の育成や海域生物とのふれあいを通じて、府民の皆さんに大阪湾への関心と環境改善意識を高めていただくため、府民参加による体験型の環境学習を実施します。平成18年度は、大阪湾奥部における水質浄化や生態系の回復を図る「コンブ育成実験」や「ウミホタル観察会」、「大阪湾の生き物観察会（ちりめんじゃこのお友達観察会）」を実施します。



< 昆布育成実験の様子 >

(3) 総合的な環境情報システムの整備・環境情報の提供

総合的環境資源情報提供システム構築事業

【新規】

良好な自然環境との触れ合い、農林水産分野の体験、環境学習に関する講座への参加や施設の利用等環境資源の活用に係る情報の効果的な提供を図るため、散在している府内の環境資源に関する情報をネットワーク化し、おおさかの環境ホームページ エコギャラリー

ーにおいて、データベースとして見やすく提供します。

また、このデータベースを効果的に活用し、環境活動のアドバイス、活動したい人と人材を求めている人（団体）のマッチングなどを行う環境資源情報のコーディネーターを設置し、各種問合せ等へのワンストップサービス体制を確立します。

環境情報の発信

環境や自然の保全に向けた意識を広げるため、エコギャラリーなどにより、府域の環境に関する情報提供を行っています。

平成18年度は、大気、水質等の環境の現況や、みどり、ため池の分布、生き物の出現などの自然環境の状況を地図上で参照できるようにし（大気、気温についてはリアルタイムで情報提供します。）より身近でわかりやすい環境情報の発信に努めます。

(4) 調査研究の推進

竹資源の持続的利用のための竹林管理・供給システムの開発

里山地域では多くの竹林が放置され、周囲の森林や耕作地に侵入し拡大することが多く、伐採とその資源としての利用を進めることが必要となっていますが、管理供給システムがないため、大規模に利用されるに至っていません。

そのため、（独）森林総合研究所を中核とし、愛媛県、山口県、鹿児島大学と共同で、

竹資源の持続的利用を目的とした管理技術の開発、伐採や搬出に要するコストを低減できる技術等について調査研究を行います。

水生生物の多様性保全に関する調査研究

水の都大阪の水辺は、たくさんの命を育む水生生物の宝庫です。とりわけ、淀川は、天

然記念物の淡水魚イタセンパラなどが生息しており、すばらしい自然を身近に提供してきました。しかし現在、外来生物によりそれらの在来生物が追いつめられています。そのような状況から、自然生態系を回復させるための調査研究の一環として、万が一の絶滅に備えて希少在来種の一部を水生生物センターに避難させ、繁殖の研究を行います。また、あわせて生息地における環境改善や外来生物対策について検討します。

(5) 事業活動における環境への配慮

環境マネジメントシステム（EMS）の普及・啓発

環境ISO（ISO14001）を始めとする環境マネジメントシステム（EMS）に取り組む事業者や、環境にやさしい生活をめざす府民のために、EMSの基礎知識や、EMSの構築までの作業を分かりやすく解説したホームページ「大阪府EMSポータル」を開設しました。

「大阪府EMSポータル」をきっかけとして、多くの組織がEMSに取り組み、また、個人や家庭でのエコアクション（環境配慮行動）が促進されるよう、様々な機会を活用して、「大阪府EMSポータル」の周知を図ります。



(6) 経済的手法等による環境負荷の低減

環境ビジネス・環境技術交流の促進【新規】

【再生】

中国・上海での省エネルギー・環境保護分

野における府内中小企業のビジネスチャンス拡大のため、上海市政府の環境関係者及び大学・研究機関、経済関係者を招聘するとともに、産学官で構成する「環境ビジネス・技術ミッション団（仮称）」を上海に派遣してフォーラムを開催するなどの経済交流事業を実施します。

環境技術コーディネート事業

循環型社会の構築や環境関連産業の振興のため、大阪が抱える環境問題の克服に役立つ環境技術を中心に、府の関係機関などと連携して、研究開発の奨励、技術支援、特許情報や技術情報の提供、府内中小企業が開発した環境技術の評価・普及などを行います。この事業では、ため池の水質浄化技術の実証など、環境省の環境技術実証モデル事業も活用します。

(7) 府の率先行動の拡大

大阪府庁におけるISO14001の推進

平成11年2月に本庁舎において認証取得した環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001については、平成18年2月に環境農林水産部と都市整備部（旧土木部）の出先機関にも、その認証範囲を拡大しました。

今後も、環境マネジメントシステムを活用して、大阪府の事業活動による環境への負荷を一層低減していくため、認証範囲をその他の出先機関等にも順次拡大し、府庁全体での環境マネジメントシステムの取り組みを進めていきます。